

## 育てる～資格取得支援の制度化～

## インタビューを受けた人



社会福祉法人 あざみ会  
(職員)  
戸島 有彩  
Iijima Ayumi

学習院大学経済学部卒。  
2020年4月、新卒で入職。  
資格取得支援を受け、保  
育士試験一発合格。2021  
年4月から正社員として、2歳児担任をしている。

## ココキャリア・アカデミーの授業風景



あざみ会全体として、過去14名の職員がココキャリア・アカデミーを受講。戸島さんの受講が始まったのは、緊急事態宣言の真っ只中だった。オンラインと対面を織り交ぜながらの開校となったが、無事に一発合格した。

CHAPTER 3  
育てる社会福祉法人 あざみ会  
首都圏8園での資格取得支援  
保育士輩出の仕組みづくり

## インタビューを受けた人



社会福祉法人 あざみ会  
専任職員 (職員)  
川西 和弘  
Kawasaki Kazuhiko

保育業界へ転身する前は、花壇の経営をしていた。2013年社会福祉法人あざみ会へ入社。2017年より事務長を務め、2017年理事に就任。しんじくの小保育園施設長も兼任。

保育士候補の無資格者採用が  
当たり前に存在する環境に

およそ50年にもたり、地域の保育士支援してきた社会福祉法人あざみ会も、保育理念を掲げるため、職員の働きやすさを追求し、安心して働ける働き作りを力を入れても、いつの頃からか「保育士の給与が低い、条件が悪い」という部分だけがアウカスされるようになり、保育士採用が更に難しくなるといわれ、アルバイトから提案され、2017年から資格取得支援制度を導入。これまで14名の職員がココキャリア・アカデミーを受講し、保育士資格を取得してきました。正社員職員100名、パート職員70名を招く規模で無資格者を運営するあざみ会の理事でもある川西事務長に話を伺った。

だが、高校が進学校で家庭や担任から他の進路を勧められ、学習院大学に進むようになった。しかし、就活支援を強制的に改めて資格を考へ、「保育士になりたい」と決意。保育士資格を諦めて取れないが、就活中は戸島さんにももとの担当がなかった。あらかじめ「無資格でも働ける態を探そうに、あざみと出会う」。保育内容は興味はもたないが、まだまだ無資格で働ける園が少なかった。大変ながらも思いがけずあった。講師が親身になって教えてくれた。学塾だけでは知りなかつたことを知れた良かった。『有資格者の社会人スタートに最初は無資格者に対する対応も戸島さんだが、資格を取り戻すことでやり直していいと思います』

## 一般大学からの就職活動

保育士は小中高生の姿の「なりた」い職業ランキング「上位」の常連だ。それにも関わらず手が少ないのは、進路指導や偏差値教育の影響もある。進路指導、職員の戸島さん自身もその人だった。中学生の頃から保育士に憧れていた。

## 資格取得支援が際立った活動

「無資格でも働きたい」という人の応募は、制度導入前は年配層・パート希望が多かったですが、制度導入後は若手・フルタイム希望が増えました。また「保育士として働き始める時点での資格取得と理解ある職員の育成」

通常業務に追記するだけ  
人柄重視の無資格者採用

近年、あざみ会からは、保育士試験の一発合格者が続いている。支援対象はどのように募集をしているのだろうか。正社員を募集するときに、「無資格の方へ資格取得支援をしています」と記載するだけでなく、最近では、急な欠員で女性向けの一般求人メディアに「保育士募集を出した際、一緒に記載した結果、有資格者の応募はなかったのですが、無資格者10人の応募があり、その中から採用しました。無資格者の問い合わせは増え、この半年で4人採用した。もちろん、希望者であれば誰でも良いわけではなく、支援対象の選定では、人柄やコミュニケーション力など総合的に判断している。『保育士を奨励機で、今まで学んできたこ

験が、養成校卒の新卒保育士が多数の間、経験のみからスタートである」と比較すると、資格取得支援を受けた保育士は、半年〜1年半の経験後、法人経験を持った状態からのスタートがあります。すでに8〜10割のことを教えている状態で保育士として配属されます」と川西事務長は制度導入のメリットを感じている。法人内でのしっかりと説明をし、各園長は制度導入も受け入れ積極的に支援をしてくれている。余裕を持って採用を実現し経営面に貢献しているが、複数園で0円児の欠員が出るなど、少人数に直面し危機を感じているという川西事務長。選ばれる権利になるため、今以上にあざみ会へ理解の必要性が必要だ。現状に甘んじることなく、未来を見据え人材育成を進める。



## CORPORATE PROFILE

## 社会福祉法人あざみ会

東京都品川区東品川2-10-12  
法人設立年月日:1970年1月  
ホームページ: <http://szamikal.jp/>  
東京都・神奈川県で、認可保育園を7園、小規模保育を1園運営。五感を育む保育を旨とし、独自の保育・行事の実践を積極的に行っている。